

出資法人等評価・カルテシート（平成 27 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団		
所在地	豊中市玉井町1丁目1番1-501号	所管部局・課	人権政策課
設立年月日	平成12年9月1日	代表者	理事長 林 誠子
基本金・資本金	基本財産 150,000,000円	うち市出資額（率）	150,000,000円（100%）
設立目的	男女の自立並びに社会のあらゆる分野への対等な参画を促進する事業を行い、市民の主体的な活動を支援することによって、男女が人権を尊重しつつ責任をわちあい、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とします。		

2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		H25			H26			H27		
		市派遣	市OB		市派遣	市OB		市派遣	市OB	
役員	常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	14	0	1	14	0	1	7	0	0
職員	常勤	11	0	0	10	0	0	12	0	0
	非常勤	3	0	0	7	0	0	9(注)	0	0
役員の平均年間報酬（H26年度、千円）※常勤のみ		0			職員の平均年間給与（H26年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			3,860千円・48.2歳		

※H27表記より、役員数から評議員を除外しました。

(注)4人は、国の「地域人づくり事業」における雇用者（H27年8月31日まで）。

3 財務関係

		金額（千円）		
		H24	H25	H26
損益計算書	総収入	127,575	119,555	120,818
	（うち市受入金）	95,836	91,778	114,592
	総費用	129,031	115,145	119,135
	経常損益	▲1,455	4,410	1,683
	当期損益	182	4,410	1,683

		金額（千円）		
		H24	H25	H26
貸借対照表	資産の部合計	178,942	179,132	182,254
	負債の部合計	15,814	11,523	13,034
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	163,127	167,609	169,220
	利益剰余金	13,127	17,537	19,220

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H24	H25	H26	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	0	0	0	
	事業費	0	0	0	
	運営費	0	0	0	
	委託料	0	0	14,813	地域人づくり事業（雇用型・非雇用型）、就労準備パソコン、パソコン職場実習
	指定管理委託料	97,798	95,836	99,779	
	その他	0	0	0	
計		97,798	95,836	114,592	
ストック	貸付金残高	0	0	0	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金	150,000	150,000	150,000	
	その他	0	0	0	
計		150,000	150,000	150,000	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H24	H25	H26
【指定管理事業】 情報の収集・加工及び発信事業	男女共同参画に関わる多岐にわたる課題に対し、その解決の糸口となる情報の提供等により、エンパワーメント支援を行います。	情報相談サービスの件数	261件	234件	213件
		貸出総数	28,116点	28,715点	29,514点
【指定管理事業】 性別に起因する人権の侵害及び悩みに関する相談事業	女性の生き方の総合支援として、電話や面接による相談や、法律・労働・からだ性と、DVなどの専門相談等で女性の自立をサポートします。	相談件数	1,950件	1,965件	1,877件
【指定管理事業】 市民活動支援	すてっぷ登録団体に対する支援を中心に、男女共同参画社会形成に向けた活動拠点として市民活動をサポートします。	すてっぷ登録団体数	24団体	27団体	27団体
【指定管理事業】 男女共同参画学習及び啓発	誰もが、性別に関わりなく多様な生き方を選択できる社会をめざし、固定的性別役割分業意識の解消等に向けた啓発事業を行います。	講座実施数 (シリーズや連続講座は1本で換算)	16本 (延べ25回)	20本 (延べ36回)	15本 (延べ26回)
		参加者数	1,719人	1,854人	1,738人
【指定管理事業】 女性の技術・資格取得及び自立支援	自立や働くことを柱に、就労やキャリア形成支援の目的で、関係機関等とも連携しながら、各種講座を実施します。	講座実施数 (シリーズや連続講座は1本で換算)	33本 (延べ101回)	22本 (延べ148回)	13本 (延べ53回)
		参加者数	550人	356人	363人
【指定管理事業】 調査研究事業	男女共同参画の視点から課題解決につなげられるよう、効果的な事業の実施、内容の充実・向上を図る目的で実施します。	—	女性の労働に関する調査研究事業	女性就労の支援事業研究会 13回実施	女性就労の支援事業研究会 4回実施

【指定管理事業】 男女共同参画の推進に関する催し等への施設提供事業	男女共同参画を推進するための会議や学習、文化表現などの活動、その他各種活動のために施設貸出しを行い、市民活動を側面的に支援します。	貸室稼働率 (楽屋を除く)	52.9%	57.3%	62.2%
【自主事業】 指定管理事業の補完や自主財源確保のために行う男女共同参画に関する事業	情報・講座・相談の各事業において、多様な講座や研修事業、受託事業等を行っています。	自主事業本数	7本	3本	3本
		受託事業の講座回数等	緊急雇用創出事業： 雇用実人数6人、講座：69回、他	緊急雇用創出事業： 雇用実人数7人、講座：65回、他個別研修等5種	1) 地域人づくり事業雇用型：雇用実人数6人(のべ)、講座20本57回 2) 地域人づくり事業非雇用型：総受講者数281人(のべ)、講座7本、18回 就労準備パソコン実習38回、パソコン職場実習20回

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H24	H25	H26
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	75.1%	76.8%	94.8% (今年度から委託料を市受入れ金に参入)
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	64.5%	65.2%	62.3%
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	2.9%	14.4% (会計区分変更のため)	13.8%
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	91.2%	93.6%	92.8%
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表します。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	92.1%	89.7%	88.9%
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	181.1%	249.5%	243.7%

	<p>に取り組む職員として基本的な人権の理解を深め、あわせて職場のコミュニケーションの改善を図る取組みを実施しました。</p> <p>また、平成 26 年度の職員採用では従来の「事務職」採用から「企画・運営職」採用に変更し、企画力を重視した職員採用を行いました。</p>	<p>ないでいくためには、豊中市をはじめとした行政施策や中間支援団体の取組みを俯瞰して具体的に把握する必要があります。そのため、男女共同参画や労働における基本的な法規や制度、豊中市の施策、相談窓口について理解を深めます。</p>
財務状況の維持	<p>指定管理料、受託事業収入を収入の柱としています。受託事業「地域人づくり事業」(2 事業)のスタートが半年遅れて、予定より大幅に収入が減少しましたが、経費の圧縮により当期は、1,683,130 円の黒字となりました。</p>	<p>正味財産額の維持、増加を図るとともに、公益目的支出計画が適正に実施できるように財務の管理に努めます。「女性活躍推進」や「地方創生」という国の政策のもとで、指定管理料だけではなく、新たな受託事業の可能性を追求し、収入の柱が多角的になるよう努めます。引き続き、内閣府助成金事業などプロポーザル事業にも積極的に応募します。</p>
事業の活性化	<p>「豊中市男女共同参画推進条例 10 年人と地域を元気にする男女共同参画」をメインスローガンにして、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷの指定管理事業では、「とよなか女性防災プロジェクト 2014」などを通して地域に根ざす一歩を踏み出すと同時に、施策へ提言しました。</p> <p>また、「地域人づくり事業」など、女性就労支援を目的とする受託事業に取り組み、再就職をめざす女性たちに向けたプログラム開発と実践を行いました。</p> <p>諸事業の基盤となる、施設管理・貸室事業、相談事業、情報ライブラリー事業も円滑に進めました。</p>	<p>平成 26 年度の取組みを踏まえ、次の事業に取り組みます。①市民の声や課題をキャッチして、積極的な情報発信や政策提言を行います。②男女共同参画の諸領域のなかでも「労働への参画」を重点にすべく、「地域人づくり事業」の成果を踏まえて「就労」「就労継続支援」事業を行います。③「女性と防災」「男女共生教育」等、地域の課題に諸団体とともに取り組み、地域に根ざし、広げる活動を行います。</p>
業務の改善・効率化	<p>国の「地域人づくり事業」における雇用の受け入れを通して、業務を洗い出して標準化するなど、効率的な分担を進めて職員の仕事を高めました。また、効果的な事業展開ができるよう事業の絞り込みを行いました。</p> <p>あわせて、日常的な施設管理・稼働率向上の取組みにより、貸室稼働率を 57.3%から 62.2%と前年比 4.9 ポイント上昇させることができました。</p>	<p>センター各部署が連携して運営や事業を行う等の業務改革を進めます。職員の業務を「見える化」し、効率や仕事を高めます。</p> <p>研修実施を通して「頼れる」センター運営を担う職員の育成を図り、職員が安心して自信を持って市民対応できることをめざします。</p>

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <p>実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>豊中市における女性の状況を見たとき、経済的格差の拡大、少子高齢化のもとで、一層、複合的なニーズを持つ女性が増えていると考えられます。たとえば、シングルマザー、子育て中の女性、結婚や出産によって就労を中断した女性、単身女性、失業中の女性、教育年限の短い女性などの隠れたニーズを把握することが必要となっています。</p> <p>財団は、すてっぷという地域の男女共同参画センターの運営によって、豊中市域の女性が抱える課題や困難点をキャッチして事業化することができます。また、相談室・情報ライブラリー・学習啓発講座・施設事業を通して女性たちの課題を総合的に支援することも可能です。</p> <p>平成 26 年度は、次の特徴的な事業を行</p>	<p>実施事業の機能を最大限に生かして、地域から頼られるセンターになっていきます。</p> <p>第 1 に、主な実施事業である、すてっぷ事業は、相談事業・情報提供事業、学習啓発事業、施設提供事業が相互に機能を発揮して、縦割りではなく総合的に豊中市域の女性の課題解決をサポートしています。</p> <p>たとえば、家庭内暴力を受けて来所した市民に対しては相談事業を通して適切な情報提供、心理的なケアを行います。経済的自立に向けては、就労支援事業につなぐ、豊中市の無料職業紹介所につなぐなど、蓄積した情報やノウハウを使って、一人ひとりを総合的に支援していきます。</p> <p>第 2 に、地域の課題解決システムの一翼を担っています。</p>

	<p>っています。</p> <p>第1に「地域人づくり事業」(非雇用型)として、結婚・出産によるブランクのある女性の再就職を支援する事業を行っています。</p> <p>事業を通して、就労から遠ざかっていた女性たちの就労阻害要因が社会的な構造から形成されるものであり、彼女たちを「就労困難者」として捉え、施策の対象とする必要性が見えてきました。たとえば、結婚や出産により、職場や社会活動から遠ざかっていたことによる自信の喪失、自尊心が低くなっていること。性別役割分業意識、子どもは母親がケアする必要があるという構造的な背景によって生み出される社会意識が自分の生き方よりも家族の快適さを優先させ、一歩踏み出すことを困難にしています。</p> <p>第2に、「とよなか女性防災プロジェクト2014」では、「女性と防災」については、地域で指導的立場を担っている人々の参加で「女性と防災を考える会」として豊中市地域防災計画改定のタイミングで豊中市に提言書を提出しました。あわせて防災会議を通して意思決定の場に女性の意見を届け、計画の修正に反映させました。</p> <p>取り組みを通して豊中地域防災計画にすてっぷの役割として、相談窓口の開設、情報提供、ボランティア、NPOの受け入れなどが位置付けられました。</p> <p>このように財団は、事業を通して地域の女性の課題を発見し、解決への一歩をサポートする積極的な役割を担っています。</p>	<p>①結婚や出産によって就労を中断し、いわゆるM字の谷と言われる女性たちの就労支援が経済的・社会的にも持続可能な社会づくりにおいて求められています。実施事業にある、働く女性の「ちょっと相談」など就労継続のための相談や就職準備、就職活動、職場での悩みの解決など労働関係相談の充実も就労や就労継続に貢献しています。</p> <p>②自治会などに参加する市民が減少する中、地域コミュニティの関係が希薄になり、くらしの安全が守られにくくなっています。「とよなか女性防災プロジェクト2014」の成果を引き継いで、「女性と防災を考える会」などを軸に地域の活性化に取り組めます。</p> <p>第3に、すてっぷの施設管理・貸室事業、市民活動支援事業、学習啓発講座事業を通して、市民活動の活性を図ることは、豊中市域の市民力を高めることにつながっています。</p> <p>たとえば、すてっぷ登録団体(27団体)の活動は、多様な社会的課題を取り上げています。また、すてっぷを拠点に定期的に、市民に開かれた事業を実施している団体の活動を一層支援することが必要です。</p>
<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か 	<p>平成26年度決算では、受託事業開始の半年遅れによって指定管理料の比率が高まっていますが、管理費比率、人件費比率とも前年度を下回っています。また、緊急雇用創出事業を通して業務改善を行い、諸経費節減に努めてきました。</p> <p>豊中市の就労施策に協力した事業の受託、内閣府や民間団体の助成金を獲得するなど積極的な努力を行っています。</p> <p>男女共同参画を目的とする専門財団として、職務を有効に担える職員を擁しています。労働問題の専門家をはじめ、社会保険労務士や司書、産業カウンセラーなど専門的な資格を有する職員、プロポーザルなど外部資金導入に実績を有する職員、デザイナーや高いパソコンスキルを持つ職員、コンサートを含むイベント事業の実績を持つ職員、民間企業経験者、地域や大学で男女共同参画、人権教育を担う職員もおり、専門財団として今後の事業展開を有効に進めることができます。</p>	<p>豊中市の重要施策である男女共同参画を担う拠点施設職員としての能力を最大限引き出しつつ、専門性を獲得する努力を継続していきます。あわせて部門間の連携を重ねて効率的な運営の工夫を行ないます。</p> <p>積極的に受託事業の可能性を追求し、指定管理事業、自主事業、受託事業など経営の多層化に努めます。そのための経営マネジメントの仕組みを検討していきます。</p> <p>また、これまで実績を有する内閣府男女共同参画局などのプロポーザルに積極的に応募していきます。</p> <p>経営基盤を強化していくために基幹職員の体制を強化していきます。そのために人材育成・目標管理・賃金制度を含め総合的な検討に着手して効率的な業務執行に努めます。</p>

<p>有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>第1に、豊中市『人権についての市民意識調査報告書』（平成26年（2014年）3月）では、すてっぷの認知度が30.8%（平成19年（2007年））から39.3%（平成25年（2013年））と認知度が大きく伸びていることが分かりました。</p> <p>第2に、平成26年度ですてっぷ利用者アンケートからも利用者の高い評価を受けていることが分かります。</p> <p>第3に、豊中市DV対策基本計画にもとづき、相談事業でも情報提供や住民基本台帳支援事務を行うなど、DV相談者の支援機関として役割を果たしています。</p> <p>第4に、財団のこれまでの蓄積を生かして、受託事業「地域人づくり事業」において、体系的な学習プログラムを長期にわたって実施した結果、受講生の約半数が就職するという成果を上げています。</p>	<p>豊中市の男女共同参画政策の拠点施設として、講座、相談、ライブラリー、施設管理・貸室事業など諸事業では、縦割りではなく内部の連携を進めるとともに、専門家や他の民間団体との連携を深めてきましたが、それを一層進めていきます。</p> <p>男女共同参画という課題は、総合的な課題です。職員が、施設事業の目的や機能を理解することを通して、市民一人ひとりを総合的に支援することが可能になります。</p> <p>男女共同参画社会の実現に向け市民の力を結集します。</p> <p>豊中市の多様な出資法人、市と関係する中間支援団体と連携し、市民の課題を解決する、生活に根差した身近な男女共同参画を進めていきます。</p> <p>蓄積した人的なネットワークやソフト面でのノウハウ、専門的な観点からのアドバイス、市民活動を支援するコーディネート機能をさらに強めていきます。</p>
<p>総合評価</p>	<p>男女共同参画社会の形成という国の重点施策を豊中市において実現すべく、豊中市男女共同参画推進条例、豊中市第2次男女共同参画計画や豊中市DV対策基本計画の実現に役割を果たしてきました。</p> <p>市からの指定管理委託料への依存度には課題がありますが、管理費比率、正味財産比率等の財務指標が示す通り健全な、安全性の高い事業運営を行っています。</p> <p>平成26年度は相談室・情報ライブラリーというすてっぷの基幹となる事業を円滑に進めてきたことを前提にして、次の特徴的な取り組みを行ってきました。</p> <p>第1に、「女性と防災」については、地域で指導的立場を担っている人々の参加で「女性と防災を考える会」として豊中市地域防災計画改定のタイミングで豊中市に提言書を提出しました。あわせて防災会議を通して意思決定の場に女性の意見を届け、計画の修正に反映させました。</p> <p>第2に、労働への参画については、「地域人づくり事業」（受託事業）により就労継続支援・再就職支援事業を積極的に進めた結果、再就職支援を進めるノウハウを蓄積し、新たに池田公共職業安定所や企業、協力者とのネットワークをつくってきました。</p> <p>第3に、施設管理・貸室稼働率向上の取り組みを日常的に行うことにより、貸室稼働率は62.2%を達成しました（豊中市とのサービス水準合意書にある最高水準は稼働率60%）。日常的に清潔感あふれる居心地のよい施設をつくる職員の努力は、利用者アンケートからも高い評価を得ています。</p>	<p>財団は、男女共同参画推進センターすてっぷという地域の男女共同参画施策を担う拠点施設の指定管理者として、下記のような蓄積を行ってきました。</p> <p>第1に、男女共同参画を担う専門財団として、各方面の知識・経験・資格を有する職員集団を有しています。</p> <p>第2に、すてっぷの施設管理・貸室事業、相談室事業、ライブラリー事業、市民活動支援事業、学習啓発事業、調査研究事業の分野において、事業を進める仕組みを作ってきました。</p> <p>第3に、男女共同参画社会をめざす事業は、財団単体では困難ですが、これまでの事業を通して、中間支援組織、団体、企業、学校、NPO、研究者、実践者など多種多様なネットワークを構築してきました。</p> <p>今後もこのような財団としての資源を有効に活用しながら、豊中市の男女共同参画社会の実現において、積極的な役割を果たしていきます。</p> <p>豊中市における女性の状況を見たとき、経済的格差の拡大、少子高齢化のもとで、一層、複合的なニーズを持つ女性が増えていると考えられます。労働への参画を応援する女性就労支援事業は、今後もニーズがあると考えられます。</p> <p>受託事業（「地域人づくり事業」（雇用型、非雇用型）、パソコン実習、就労パソコン）で培ったネットワークとノウハウ、豊中駅直近という施設の利点を生かして事業の活性化を図っていきます。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資目的は薄れていないか ・ 市の施策の方向性に適合しているか 	<p>とよなか男女共同参画推進財団は、豊中市域において社会のあらゆる分野へ男女の均等な参画の推進及び男女の人権の確立を図る事業を行い、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的として市の全額出資で設立された財団ですが、当財団は、市の男女共同参画計画、DV 対策基本計画を的確に把握し、これらに沿って事業展開をしていることから、市の施策に貢献するものといえます。市では女性の DV 被害者支援や就労支援を優先的課題に考えていますが、財団でも DV 被害者等の厳しい実態を理解し、個々の立場に寄り添いながら積極的に支援方策に向けての事業に取り組んでいます。支援方策をはじめ、男女共同参画の推進のために積極的に市のネットワーク会議や外部の研修会に参加し、情報の共有、提供を行い、またそこで得た事を財団内部で情報共有し、事業に活かす姿勢は、市の施策に合致しているといえます。</p>	<p>男女共同参画社会の実現を市民レベルで進めていくためには、個々の市民生活レベルでの具体的な取り組みが求められます。それらの取り組みを促すため、市民ニーズを汲み取り、事業化していくアイデアや能力が求められます。市の男女共同参画審議会の意見を取り入れ、それをすぐに事業化する姿勢や、市のネットワーク会議などでの情報や、講座受講者アンケート結果、施設利用者アンケート結果をふまえて、課題を洗い出し、次の企画に活かす姿勢を評価しています。</p> <p>今後もこの姿勢を維持し、市との連携を図りながら共に高め合う存在になることを期待します。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資法人等を活用するメリットはあるか ・ 出資法人等にしかできないことか 	<p>市が直営で行う場合に比べて、専門性を持った職員が継続して事業を担える点、財団のこれまで培ってきた団体、市民とのネットワークを活かすことで事業を発展していける点、受講料を徴収する講座の開催等、多彩で柔軟に事業展開が行える点などのメリットがあると考えます。</p> <p>財団では、主催講座の参加者へグループ結成を呼びかけ、結成後は登録団体への移行支援を行いました。また、登録団体事業助成金事業の運営や市民団体事業の協賛を行い、市民の主体的な取り組みを支援しています。財団の蓄積したノウハウやネットワークを活用して支援することで、とよなか男女共同参画推進センターの認知度向上に貢献するとともに、地域における男女共同参画推進にも寄与していると考えます。</p>	<p>当財団の強みである団体、市民とのネットワーク構築や、市民や団体を支援する、いわばコーディネーター役としての機能をさらに強化していただきたいと思います。</p> <p>また、これまで築き上げたネットワークの運営や、多才な人材や専門的なノウハウを活かして、今後のさらなる事業の発展に期待しています。</p> <p>そして、とよなか男女共同参画推進センターのみに留まらず、市、団体、市民、地域なども共に発展していく関係づくりとして財団が存在することを期待しています。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・ 市の関与は適切か 	<p>市の男女共同参画計画、DV 対策基本計画を十分に理解し、社会状況、豊中市の課題に意識して各種事業を実施していることは、市の施策の推進に貢献しているといえます。</p> <p>財団では、結婚、出産等の期間を経ての再就職を考えている女性、シングルマザー、生きづらさ・働きづらさを感じている人、定年退職後の男性など、現状の課題をふまえ、ターゲットを絞った事業を実施しています。そこでは単なる支援だけでなく対話や居場所づくりを意識した事業を行い、時には必要に応じて相談窓口等につないだり、あるいは相談コーナーを開設するなど、とよなか男女共同参画推進センターの各種事業を有機</p>	<p>今後も財団独自の自主事業を進め、自主財源の確保に努めていく方策を考えていく必要があります。</p> <p>引き続き中長期的な経営計画の策定など多層的な経営マネジメントの仕組みの構築の検討を図りたいと考えています。</p> <p>自習室提供事業は、特に若い世代に好評で、施設の有効活用や、若い世代が来館するきっかけづくりに非常に良いアイデアではありますが、今後は利用者にとては単なる自習目的での施設利用で終わらず、若い世代に男女共同参画の意識の浸透、男女共同参画の担い手となるように発展させていくことを期待しています。</p>

	<p>的に結びつけて事業を実施していることを評価しています。</p> <p>また、財団が事務局となり市民や関係者を交えて立ちあげた「女性と防災を考える会」が市の地域防災計画に提言し、提言内容が計画に反映されました。また、同じく財団が事務局を務める「(仮)男女共生教育連絡会準備会」も継続して取組み、市民講座を開くに至るなど、市の施策の推進の貢献のみならず、地域などにより良い影響を与えているものと考えます。</p> <p>施設提供業務では、自習室提供事業を本格的に実施し、若年層が施設に来るきっかけ作りと、施設の有効活用に寄与しています。また、初めて施設を利用する人に貸室の利用方法をわかりやすく説明するなど利用促進を促し、リピーターにつなげるなど市の歳入確保に寄与しています。</p> <p>一方で財政面については、積極的に財源確保の方策を検討しているとはいえ、依然市からの指定管理委託料と受託事業で運営している点が、今後の経営の不安要素としての懸念があります。</p>	<p>今後も、情報提供・学習・啓発・相談・調査研究等の各種事業の有機的な連携を意識した事業展開に取り組むとともに、商工会議所、公共職業安定所など新しい接点との関係を絶やさず、とよなか男女共同参画推進センターが市の男女共同参画の拠点施設として、市民、地域、そして事業者にも定着するよう財団の一層の活躍に期待しています。</p>
<p>総合評価</p>	<p>年々、事業に創意工夫や新しい展開が見られ、常に前進し発展していこうとする姿勢を評価しています。また、事業の検証も行い、次に活かす姿勢も評価しています。</p> <p>市、市民団体とのネットワーク、関係機関と積極的に連携した事業展開が図られ、これまでに財団が培ってきたノウハウを連携の場での提供や、市の施策に提言を行ったり、もしくは連携の場で新たに情報をキャッチし事業に発展させるなどは、市の施策に貢献しているものと評価できます。</p> <p>財団では、新しい財源確保に努めるため積極的に情報収集し、少ない職員数で既存の事業との運営の兼ね合い、効果などを考えながら検討している姿勢については評価しています。</p>	<p>これまで培ってきた市民、団体、関係機関とのネットワークや地域での実務経験をさらに活かし、今後もニーズに即した事業展開に期待しています。</p> <p>そのためにはさらなる人材育成が行われることを期待しています。</p> <p>財務状況については、今後も引き続き自主財源の確保に努められ、財政基盤の強化をめざしていただきたいと思えます。</p> <p>今後も市と積極的に情報共有を図り、より公益性、柔軟性を発揮し、公益財団法人をめざしていただきたいと思えます。</p> <p>また、とよなか男女共同参画推進センターが市の男女共同参画の拠点施設として、市民、地域、そして事業者にも定着するよう、市も財団も双方が高め合える存在となるように発展していくため、今後も密な連携ができることを願っています。</p>